

19. 博士論文等の提出について（作成要領）

広島大学大学院生物圏科学研究科学学位論文等作成要領（課程博士）

（広島大学学位規則生物圏科学研究科内規第3条及び第7条 による提出書類）並びに学位論文の公表について

（平成19.4.1制定）

改正：平成25.6.24

平成27.10.26

I 学位論文について

- 1 永年保存に耐え得る製本（黒のハードカバー）とし、表紙及び背表紙等は、別紙1-1及び別紙1-2の要領で印刷すること。
- 2 規格は、A4版とする。
- 3 用紙は、白地上質紙とする。
- 4 記載は、縦位置横書とする。
- 5 印刷は、永年保存に耐え得るものとするが、複写でもよい。
手書きによる場合は、楷書でていねいに記載し、文中の外国語は、活字体又はタイプ打ちすること。
- 6 共著論文あるいはその内容を学位論文として使用する場合は、共著者から、学位論文提出者の学位論文とすることについて承諾書を得ること。
承諾書の様式は、別紙2のとおりとする。
- 7 学位論文の提出部数は1部とする。

II 論文目録について

- 1 題目（副題を含む。）は、提出論文のとおり記載すること。
外国語の場合は、題目の下にその和訳を併記すること。
- 2 すでに学位論文を公表したものについては、学術雑誌の場合は、雑誌名、巻（号）、頁（最初と最後の頁。以下同じ。）及び発行年（西暦。以下同じ。）を、また著書の場合は、出版社名及び発行年等を記載すること。
また、すでに投稿し学会等において受理されているが、学位論文提出時において、印刷公表されていないものについては、学術雑誌の場合は、雑誌名及び受理年月日を、また、著書の場合は、発行予定年月日を記載すること。
- 3 学位論文の内容（受理、印刷中を含む。）が公表されている部分については、参考論文として記載し、当該論文の印刷物を1部添付すること。
引用している特許及び特許出願が公開されているもので、内容が学位論文と関係するものについては、参考論文として記載することができる。
- 4 論文目録の記載要領は、別紙3のとおりとする。

III 論文要旨について

- 1 論文題目（副題を含む。）は、提出論文のとおり記載すること。
外国語の場合は、題目の下にその和訳を（ ）内に併記すること。
- 2 論文の要旨は、A4判用紙を使用し、4000字以内とすること。
なお、英文の場合は、1500ワード以内とすること。
- 3 論文要旨の記載要領は、別紙4のとおりとする。

IV 履歴書について

- 1 氏名，生年月日，本籍地は，戸籍抄本のとおり記入すること。
- 2 現住所は，住民票に記載してある住所を記入すること。
- 3 学歴について
 - (1) 高等学校卒業後の学歴について，年次を追って記入すること。
 - (2) 入学・卒業・修了・休学・退学その他在籍中における異動についても，もれなく記入すること。
 - (3) 本研究科における学歴については，次のとおり記入すること。

平成〇〇年4月1日 広島大学大学院生物圏科学研究科（博士課程前期）〇〇専攻 入学
平成〇〇年4月1日 広島大学大学院生物圏科学研究科（博士課程後期）〇〇専攻 進学
平成〇〇年3月〇〇日 同 上 修了見込
本研究科以外から博士課程後期へ入学したものは，「進学」を「入学」として記入すること。

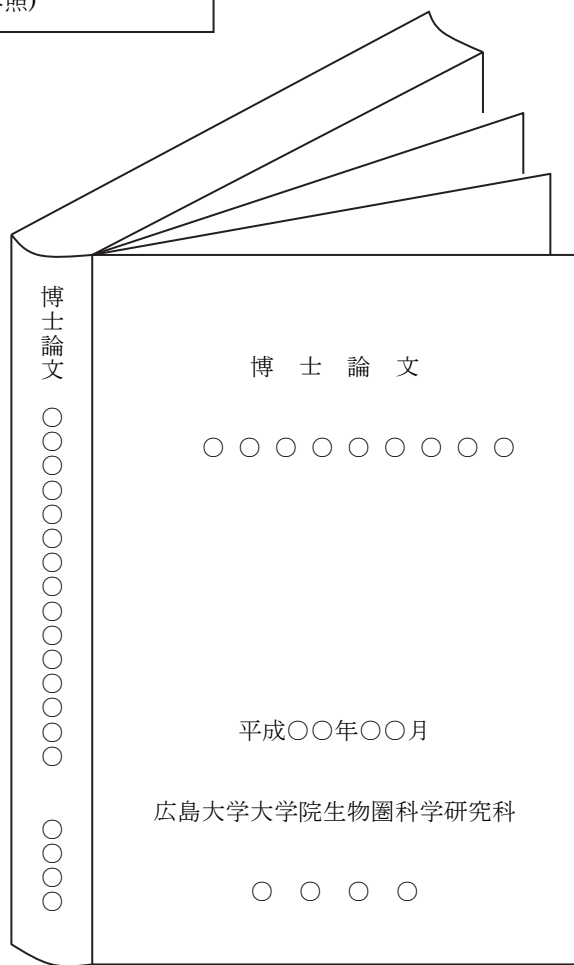
- 4 職歴・研究歴・賞罰（学会賞受賞等を含む。）のある者は，年次を追って記入すること。

V 学位論文の公表について

- 1 博士の学位を授与された者は，広島大学学位規則（以下「規則」という。）第14条第1項に基づき，学位を授与された日から1年以内に，その学位論文の全文を公表しなければならない。
- 2 前記1にかかわらず学位論文の内容を分割公表又は一部公表できるものとする。ただし，特別の事由により一部の公表にとどまる場合には，規則第14条第2項に基づき，学位論文の全文に代えてその内容の要約を公表しなければならない。
- 3 公表は，単行の書籍又は学術雑誌等の公刊物（以下「公表誌」という。）に登載して行うこと。
- 4 自費出版等配付が限定される出版物であっても，大学その他の学術機関等に配付されたものについては，公表誌として扱うことができる。ただし，この場合は，配付先の一覧を添付すること。

(博士論文 表紙 及び 標題紙 の書き方)

[背表紙]
博士論文、論文題目及び
氏名を別紙 1 - 2 のとお
り直接印刷する。
(便覧参照)



[標題紙の次頁]
申請者が必要とする場合は、審査終了
後、研究科長及び指導教員のサインを付
ける。
なお、必要としない場合は、この頁は
不要である。

[標題紙]
表紙と同様(別紙 1 - 2)に記載する。
ただし、研究科名の後に専攻名を記載す
る。

[見返し紙]

[表紙]
博士論文、論文題目、年月、研究科名
及び氏名を別紙 1 - 2 のとおり直接印
刷する。
本文が和文の場合は、全てを和文で記
載し、本文が英文の場合は、全てを英文
で記載する。
博士論文の英訳は **Doctoral Thesis** と
する。
論文題目の位置は、表紙の上部 1 / 3
の範囲に納める。
年月は、審査終了年月(3月又は9月)
とする。
研究科名を記載する。
年月、研究科名、氏名は表紙の下部
1 / 3 の範囲に納める。

(1)本文が和文の場合

[背表紙]

博士論文
生物圏科学に関する研究

広島一郎

[表紙]

博士論文
生物圏科学に関する研究

平成〇〇年 3月 (又は, 9月)
広島大学大学院生物圏科学研究科
広島一郎

[標題紙]

博士論文
生物圏科学に関する研究

平成〇〇年 3月 (又は, 9月)
広島大学大学院生物圏科学研究科
〇〇〇〇〇専攻
広島一郎

(2)本文が英文の場合

[背表紙]

Doctoral Thesis Studies on Biosphere Science Ichiro Hiroshima

[表紙]

Doctoral Thesis
Studies on Biosphere Science

Ichiro Hiroshima
Graduate School of Biosphere Science
Hiroshima University
March 20〇〇

[標題紙]

Doctoral Thesis
Studies on Biosphere Science

Ichiro Hiroshima
Department of 〇〇〇〇〇
Graduate School of Biosphere Science
Hiroshima University
March 20〇〇

論 文 目 録

氏 名 印

学位論文 ○○○○○○○○○○○○○○○○○

(注) 英文のときは和訳を()内に併記すること。

公表の方法 広島大学大学院生物圏科学研究科紀要に要旨を公表するほか、次のとおり公表する。

第2章 参考論文の1
第4章 参考論文の2

参 考 論 文 (注1)

<記載例>

- 1 著者名, 題目, 雑誌名, 巻(号), 頁(最初と最後の頁), 発行年, 査読有, 【学位要件論文】(注2)
- 2 著者名, 題目, 雑誌名, (受理年月日), 査読の有無
- 3 著者名, 著書名, 題目, 頁, 出版社名, 発行年
- 4 特許権者名(または, 発明者名), 発明の名称, 特許番号 (注3)
- 5 特許出願者名(または, 発明者名), 発明の名称, 特許出願公開番号 (注3)

(注1) 参考論文とは, 学位論文提出者がすでに公表した学術論文, 著書, 特許, **Proceeding** 等のうち, 内容が学位論文と直接関係あるものを示す(受理, 印刷中を含む)。引用程度にとどめられたものは記載しない。

(注2) 博士の学位申請要件となる論文については, 【学位要件論文】と記載すること。

(注3) 特許及び特許出願が公開されているもので, 内容が学位論文と関係するものについては記入してもよい。

◎課程博士の学位論文に係る参考論文について (H29.1.23 研究科代議員会)

課程博士の学位論文申請に係る参考論文には, 審査制度のある学術誌に, 申請者が博士課程後期に実施した研究を基に作成し, かつ, 第一著者として発表した学術論文(学位要件論文)が一編以上含まれていなければならない。

この取扱は, 平成29年度から適用する。